

対カンボジア無償資金協力 第三次プノンペン都洪水防御・排水改善計画完成式典開催

11月5日（木）、プノンペン都内公園に於いて、第三次プノンペン都洪水防御・排水改善計画完成式が開催されました。

プノンペン都における洪水対策に向けた日本の協力は、1999年にマスタープランの作成を支援し、このプランに基づき2001年から無償資金協力を3つのフェーズにわけて行ってきました。

今回完成した第3フェーズでは、プノンペン都の南東地域を中心に排水管新設、貯留槽改修及び維持管理車両8台の供与と維持管理体制を強化するための技術指導を行いました。

本プロジェクトにより、近年のカンボジアの堅調な経済発展と人口の増加に伴う排水量増加をうけ、雨季に深刻な洪水被害を受けていた住民、店舗、地元市場や公共施設が洪水による大きな被害を軽減することができます。同式典にはプノンペン都民をはじめ4000名以上が参列しました。

式典では冒頭、隈丸大使が「日本の協力により整備された施設が効果を十分発揮し、プノンペン都民が大きな洪水被害を免れることができるものと期待する。」と述べました。

続いて、フン・セン首相が、日本国民及び日本政府に対する謝意を述べたうえで、「日本の支援及び努力により、今のプノンペン都がある。」と述べました。

挨拶の後、隈丸大使とフン・セン首相により、維持管理車両の引き渡し式が行われました。その後、モニュメントの除幕式を行うなど、式典は和やかな雰囲気の下に終わりました。



写真-1 隈丸大使のスピーチ



写真-2 フン・セン首相のスピーチ



写真-3 車両引き渡し式



写真-4 モニュメントの除幕式